

# としよかん宇治

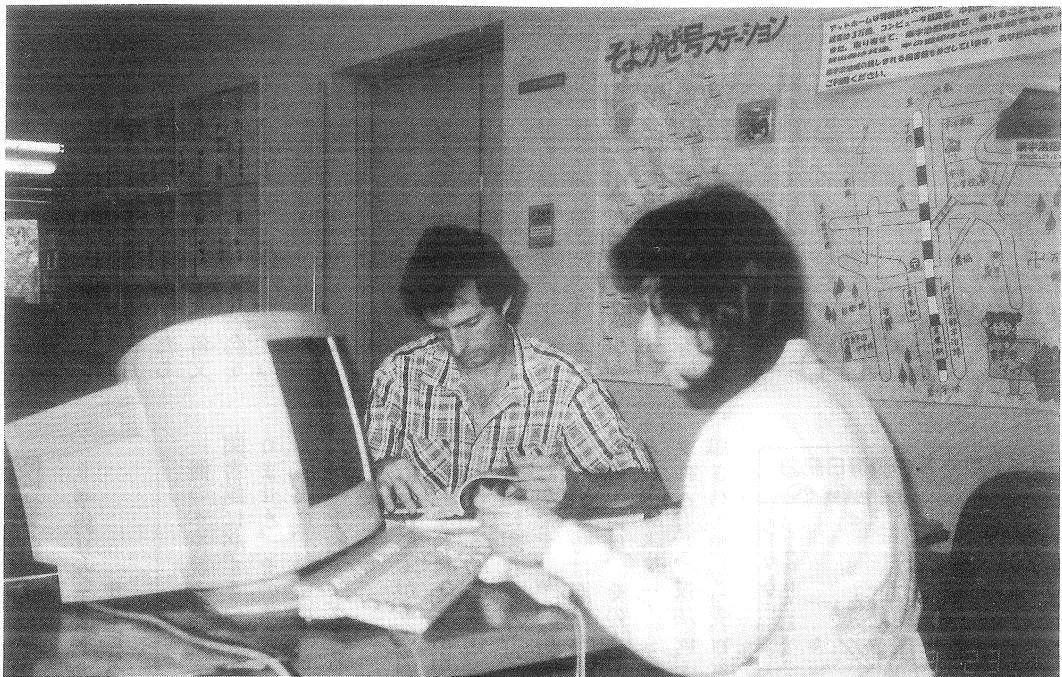
No. 42

1999年3月25日発行

宇治市中央図書館  
〒611 宇治市折居台1-1  
-0023 0774 (20) 1511

宇治市東宇治図書館  
〒611 宇治市五ヶ庄三番割36-5  
-0011 0774 (32) 2232

宇治市西宇治図書館  
〒611 宇治市小倉町山際63-1  
-0042 西小倉地域福祉センター3階  
0774 (22) 8240



つれづれなるままに

宇治市教育委員

服部 宏

私の「こころ」の深いところに、雪と夕陽が住んでいて、それが年と共に浅いところへ上がってきて、かつ大きくなってきたように感じる。それはいろいろな意味で下降する人生後半を何らかの意味で上向きにしなければと思う心とのバランスであるかもしれない。ふり返ってみると、小学生の時、多くは運動会の終わりに、「一日の汗を流して、夕映えの丘に登れば、父母の……」という、当時の音楽の先生（石井先生）がつくられた歌を歌って、なぜか小さな手をにぎりしめていたのをよく憶えている。

今年もお正月休みを利用して山形から秋田、青森へ旅をした。博物館などはみな休館であり、雪を見るしかないような旅である。一番の目的は雪の最上川下りと酒田での夕陽であった。最上川はこの時期、意外に穏やかで、粉雪まじりの風の中を、雪におおわれた山々の間を乗合船は我々を運んでくれた。

「暑き日を 海に入れたり 最上川」は芭蕉が酒田でつくったもので楽しみにしていたが、酒田はどんよりと暗く風吹いていて夕陽どころではなかった。芭蕉が旅したのは旧暦6月であり季節を間違っていたことに気が付いた。しかし、余り燈火のない家々にしんと降り雪はいつまで見ても退屈しない。新しい年の初めにいい雪を沢山見えてきた。静かな一年であればいいなと思っている。

宇治子ども文庫連絡会は「文庫活動を通し児童の読書普及に貢献し、市政に協力のあった団体」と宇治市より感謝状を頂きました。

子ども文庫は身近によい本があつて、自由に読め、友達と楽しく交流できる場を、と集会所や個人の家で開かれています。週一回、二時間、本の貸し出し、読み聞かせ、紙芝居などしています。

今から二十年前、このような文庫が互文庫集まってきたのが、連絡会の始まりです。その頃は市民会館の二階に図書室があるだけでした。当時はどの文庫も利用する子どもは多いが蔵書は少ないといった状態でした。図書室は各文庫に三十冊と府立図書館からの団体貸出を始めてくれ、各文庫はそれぞれ本を受け取りに図書室まで出かけました。連絡会の活動はひろがり、加入文庫も十五に増えて、図書館を作る運動にも参加しました。

一九八四年、中央図書館ができました。同時に図書館サービスが充実し、団体貸出冊数、文庫リンクエースの本が次々に増え、配本サービスも始まりました。特に配本サー

### 市政記念日に表彰をうけて

宇治子ども文庫連絡会  
代表 金川 明 子

ビスは助かりました。やがて、図書館も中央、東宇治、西宇治にでき、お楽しみ会、クリスマス会と子ども達へのサービスもあります。現在連絡会は十文庫ですが毎月一回の定例会を開き、子どもたちが楽しく本を読めるように、各文庫の情報を交換したり、学習会を開いたり、紙芝居、人形劇などの実技交流をしています。

また、図書館のクリスマス会、福祉祭り、あさぎりフェスティバル、まなびんぐ宇治などにも参加しています。

読書離れと言われる子ども達も、身近に本があれば読むでしょう。よい本と出会う場を作る事が必要だと思います。幼い時に読んだ本やお話を成長してから思い出し、役に立ったらと期待しながら文庫を続けています。



### 図書館の仕事

|| 予約リンクエース サービス ||

PART II

一冊の本を読みたい、と思っても図書館に必ずその本があるとは限りません。その本をできるだけ早く確実に、希望の人にお届けするのが「予約・リンクエースサービス」です。

借りたい本がその図書館にない場合、それは①宇治市内の他の図書館にある。②現在、貸出中。③図書館に現在、入っていない。のどれかです。予約用紙が出されると、①の時は連絡車で取り寄せ、②の場合は、その本が返却されるとわかるようにデータをコンピュータに入力し、返却後、その本は返却された館から受付をした館へ送

られます。その本が③の時、新刊等で現在発行されているものは書店に発注しますが、絶版・品切れ等で手に入らないものは京都府立図書館や近隣の図書館に照会し、それでもなければ大阪府立中央や大阪市立中央などの図書館から借りることになります。

リンクエースされた本はできるだけ要望にお応えしますが、そのためにも、書名等がはっきりわからない場合でも何らかの情報(○)頃の新聞の書評に載っていた、とか、××ラジオの△△番組で紹介されていた、等)を知らせていただくとう助かります。

予約本をお渡しして見せていたどく笑顔は、図書館職員にとって何よりの喜びです。「予約・リンクエースサービス」を、どうぞご利用ください。



本の返却日は守りましょう

☆西宇治がオープンする前は、どこを利用していましたか？  
 中央図書館を利用していました  
 が、遠いので、そんなには行きま  
 せんでした。ここは近いので、私  
 も妹も、毎日でも来られて便利で  
 す。



今回は西宇治図書館のオープン  
 から、よく利用してくれている、  
 長廻友貴さん（十三才）が、イン  
 タビューにに応じてくれました。

図書館へようこそ

利用者インタビュー

第 28 回

長 廻 友 貴 さん



ありがとう  
 ございました

平成11年2月2日、ボーイスカウト宇治第3 団育成会（山添雅澄会長）より260万円、平成11年2月22日、南京都平田佐吉財団より200万円の寄付金をいただきました。

ボーイスカウト宇治第3 団は、昭和45年9月に発足しました。59年度にはボーイ隊・カブ隊合わせて最高80隊員を数え活躍してきましたが、残念なことに、2月2日をもって解散することになりました。そのため積み立てていた活動資金を、青少年の健全育成と教育文化振興のために寄付されたものです。中央図書館では絵本書架と約1500冊の図書を購入する予定です。

また平田佐吉財団は昭和63年より今回で12回目の寄付になります。その一部で毎年購入している外国絵本は、現在1740冊になり中高生をはじめ、おかあさんが小さい子供さんのために借りられたりと利用も順調に伸びています。今回は児童のための参考資料を充実していこうと選書、発注に精を出しているところです。

本当にありがとうございました。

☆月に何冊位、読みますか？  
 数えたことはありませんが、夏休みは何十冊も読みました。

☆そのうち、図書館の本を読みつ  
 くしてしまいませんか。何かご  
 要望はありますか？  
 図書館には大体、読みたい本が  
 そろっています。推理小説が特に  
 好きなので、色々読みたいです。

☆新しい本をどんどん入れるよう  
 に、がんばりますね。今日はあり  
 がとうございました。

☆お母さんもよく来られますね。  
 家族みんな、本好きなんですね。  
 はい。図書館で借りる他に、本  
 屋さんで買う本もあります。借り  
 て読んでみて、気に入ったら、買  
 うということもあります。

西小倉地域福祉センター  
 西宇治図書館合同講演会

西宇治図書館では、去る三月二  
 日、西小倉地域福祉センターにお  
 いて、開設後二回目の、両施設合  
 同の講演会を催しました。今回は、  
 「平家物語と宇治」というテーマ  
 で、地方史研究家の山本真嗣先生  
 をお招きしました。宇治は「源氏  
 物語」ゆかりの地として、広く知  
 られていますが、先生の今回のお  
 話でさらに「平家物語」において  
 も、様々なドラマを生み出した土  
 地だと、認識を新たにされた方も  
 多かったです。



先生のユーモアたっぷりの楽し  
 い講演は、本物の「語り物」を聞  
 くようで、あっという間の二時間  
 でした。参加された一五〇名のみ  
 なさんに、大変喜んでいただき、  
 「続きを聴きたい」の声もあがる  
 ほどでした。

郷土のはなし

天降石

宇治に天降石と伝えられる石が二個あります。一つは世界遺産に登録された宇治上神社に、もう一つは、源氏物語宇治十帖の古跡「椎本」となっている彼方神社の境内にあります。

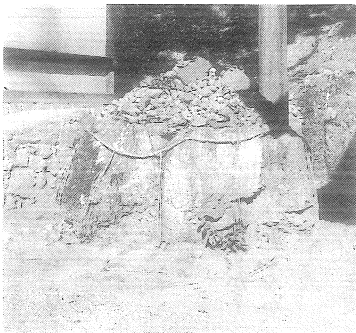
天降石というのは、文字通り、天から降ってきた石、つまり隕石のことです。隕石に関する古い記録として『続日本紀』の、天平宝字八年(七六四)九月十八日の条に、恵美押勝の家に隕石が落下したことを記しています。また旧約聖書にも「主は天から彼らの上に大石を降らし(中略)多くの人が死んだ」と記しています。このように隕石に関する伝承・記録は数多くあるようです。

ところで、天から石が降ってくることは、今では科学的に説明されているのですが、昔の人にとっては、とても不思議な出来事のように、信仰の対象になったものが多いようです。西洋では、隕石は神からの授かりものとして考えられ、魔よけや神聖な行事に用いる

道具を作ったり、また落下中に願い事をする、願いが叶えられると信じられたりしています。

彼方神社にある天降石は、宇治上神社の天降石と同様、注連縄がかけられています。言い伝えによれば、この石は岩神さんと呼ばれ、さわると祟りがあると言われたようです。古くは宇治上神社の後方の高畑という所にあったようですが、明治期の終わり頃、宇治川電気の水路工事が行われ、その際宇治発電所が建設されましたが、その敷地内にあたるため、農夫が夜中に、彼方神社に移したといわれています。この農夫に祟りがあつたかどうかは分かりません。

この二個の天降石は、本当に隕石かどうかは分かりませんが、信仰された特別な石であることに間違いありません。

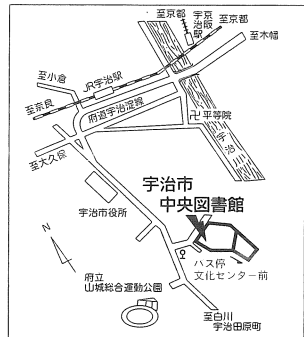


宇治上神社の天降石

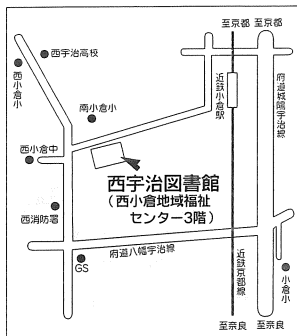
利用案内

- ・市内に在住、または市内に通勤・通学されている方なら、1人5冊3週間(そよかぜ号は約1ヵ月)本が借りられます。貸出券は全館共通です。
- ・図書館は9時から17時まで開館しています。休館日は毎週月曜日、毎月末日、祝日、年末年始です。

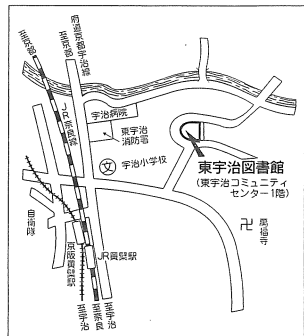
中央図書館



西宇治図書館



東宇治図書館



◆「この前はありがとございました。この本のおかげで助かりました。」と本を返却される時に声をかけられました。その時にはすぐには思い出せなかったのですが、家を建てられるということ、

『家相』についての本を探して、三、四冊の本を紹介したことを思い出しました。

ニコニコ顔で声をかけて下さった方のおかげで、その日一日幸せな気分でした。「さて今日はどんな本の紹介ができるかな?」——皆さんのお声を待っています。